

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤  
 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,070	7.1	334	45.0	358	45.2	208	201.4
23年3月期第1四半期	9,404	3.6	230	44.4	247	36.0	69	△27.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 195百万円 (209.9%) 23年3月期第1四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	20.53	—
23年3月期第1四半期	6.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,880	4,845	34.9
23年3月期	13,613	4,706	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,845百万円 23年3月期 4,706百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	6.9	400	12.9	410	4.1	190	187.1	18.67
通期	40,600	7.0	940	17.3	1,000	13.1	460	54.6	45.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,833,000 株	23年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	658,854 株	23年3月期	658,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,174,146 株	23年3月期1Q	10,532,246 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による生産活動の停滞や、原発事故に伴う電力供給不足、さらには放射能汚染、風評被害など日本経済全般に多大な影響を与え、景気は予断を許さない状況で推移いたしました。

食品小売業界におきましても、震災の影響から、食品製造メーカーの生産活動の低下や物流不安により、一時的には供給不足が懸念された結果、買いだめ、買い占めが発生しましたが、復興に伴いそれらも解消し、消費者マインドも徐々に回復してまいりました。しかしながら、病原性大腸菌による集団食中毒の発生や食品関連の放射能汚染の問題が連日報道されており、消費者の食に対する「安全・安心」への意識は、かつてないほどの高まりをみせております。

このような状況の下、当社グループは消費者目線での経営を心がけ、「安全・安心」で低価格な食品の安定した提供に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は100億70百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は3億34百万円（前年同期比45.0%増）、経常利益は3億58百万円（前年同期比45.2%増）、四半期純利益は2億8百万円（前年同期比201.4%増）となりました。

なお、「3 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報等」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (小売事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、震災を境にお客様の購買動向に変化が見られ、一部商品につきましては調達不足を招きましたが、業務用食材及び地元食品メーカーからの日配食品は安定した調達ができたとにより、お客様には不自由のない売場環境作りに努めてまいりました。

「業務スーパー」部門につきましては、6月1日に「業務スーパー塩釜店」（宮城県塩釜市）の営業を再開し、これにより被災した直営店舗は全て営業を再開いたしました。また、東北エリアの店舗は、早急の営業再開が功を奏し、好調に推移いたしました。6月には、群馬県の4店舗目となる「業務スーパー渋川店」（群馬県渋川市）をオープンし、営業エリアの拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億1百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は2億20百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

#### (弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）につきましては、取引先の節電対応による操業日の変化により、曜日による食数の落ち込みなどがありましたが、当期より弁当容器の全面リニューアルや、メニュー表をカラー写真に刷新するなどの販売促進活動を強化し、食数も堅調に推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）につきましては、引き続き新しい販売スタイルへの取り組みを企画、施策するとともに、弁当容器についても、竹材を使った可燃物で処理できるものへと変更し、環境配慮へも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」72,000食、「こしひかり弁当」6,000食の合計78,000食（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17億34百万円（前年同期比8.7%増）、セグメント利益は92百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

#### (宅配事業)

宅配事業につきましては、前連結会計年度より始めた外部委託販売員（ヨシケイパートナーレディ）を積極的に導入し、営業コースの見直しや人件費コストの抑制に引き続き注力するとともに、包材などの納入価格にも目を向け、原価低減による収益構造の改善を図ってまいりました。また、新潟市の営業所を分離して増設し、配送効率を見直すことにより業務効率の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12億97百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は1億13百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

(旅館、その他外食事業)

旅館部門につきましては、震災の影響により、全国的な観光自粛ムードの広がりなどにより稼働率は前年を下回りました。

また、旅館以外の外食部門としまして、㈱物語コーポレーション(本社:愛知県豊橋市)をフランチャイザーとする「丸源ラーメン」に加盟し、4月に「丸源ラーメン紫竹山店」を新潟市中央区にオープンいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億36百万円(前年同期比17.0%増)、外食部門の新規出店に伴う開店準備費用が発生したため、セグメント損失は11百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加し、138億80百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円増加し、90億35百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加し、48億45百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.3ポイント上昇し、34.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成23年5月11日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	868,942	829,785
売掛金	879,201	787,811
商品	921,070	1,176,891
原材料	103,985	97,005
その他	457,031	492,622
貸倒引当金	△5,855	△3,718
流動資産合計	3,224,375	3,380,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,438,768	4,440,227
土地	2,931,948	2,931,948
その他(純額)	418,109	584,741
有形固定資産合計	7,788,826	7,956,917
無形固定資産		
のれん	12,027	11,052
その他	366,797	430,515
無形固定資産合計	378,824	441,567
投資その他の資産		
その他	2,225,743	2,106,604
貸倒引当金	△4,568	△5,362
投資その他の資産合計	2,221,174	2,101,242
固定資産合計	10,388,825	10,499,727
資産合計	13,613,200	13,880,125
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,222,547	2,339,562
短期借入金	1,090,241	1,715,239
未払法人税等	420,000	14,260
賞与引当金	183,899	80,473
災害損失引当金	27,148	13,375
その他	1,101,939	1,346,408
流動負債合計	5,045,776	5,509,319
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,743,586	1,556,709
役員退職慰労引当金	570,914	296,317
退職給付引当金	17,772	18,667
資産除去債務	389,511	395,752
その他	639,638	758,253
固定負債合計	3,861,422	3,525,699
負債合計	8,907,199	9,035,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,084,177	4,237,065
自己株式	△503,942	△503,942
株主資本合計	4,748,727	4,901,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,725	△56,508
その他の包括利益累計額合計	△42,725	△56,508
純資産合計	4,706,001	4,845,106
負債純資産合計	13,613,200	13,880,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,404,851	10,070,031
売上原価	6,986,432	7,439,976
売上総利益	2,418,419	2,630,054
販売費及び一般管理費	2,187,595	2,295,341
営業利益	230,823	334,712
営業外収益		
受取利息	9	25
受取配当金	7,302	7,898
その他	24,414	29,308
営業外収益合計	31,727	37,232
営業外費用		
支払利息	14,607	11,730
その他	864	1,504
営業外費用合計	15,471	13,234
経常利益	247,079	358,710
特別利益		
固定資産売却益	3,721	—
貸倒引当金戻入額	3,552	—
その他	1,294	—
特別利益合計	8,568	—
特別損失		
固定資産売却損	2,441	—
固定資産除却損	199	298
賃貸借契約解約損	425	137
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	129,714	—
特別損失合計	132,781	436
税金等調整前四半期純利益	122,866	358,273
法人税、住民税及び事業税	73,816	8,049
法人税等調整額	△20,234	141,378
法人税等合計	53,582	149,427
少数株主損益調整前四半期純利益	69,283	208,845
少数株主利益	—	—
四半期純利益	69,283	208,845

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,283	208,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,339	△13,782
その他の包括利益合計	△6,339	△13,782
四半期包括利益	62,944	195,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,944	195,062
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,409,678	1,595,012	1,283,102	117,058	9,404,851	—	9,404,851
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,387	37,222	—	1,559	47,169	△47,169	—
計	6,418,065	1,632,234	1,283,102	118,618	9,452,021	△47,169	9,404,851
セグメント利益	138,880	74,662	92,735	39	306,319	△75,495	230,823

(注)1 セグメント利益の調整額△75,495千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△76,308千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館、その 他外食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,901,273	1,734,261	1,297,541	136,954	10,070,031	—	10,070,031
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,404	35,014	—	321	38,739	△38,739	—
計	6,904,677	1,769,276	1,297,541	137,275	10,108,770	△38,739	10,070,031
セグメント利益又は損失 (△)	220,005	92,577	113,875	△11,371	415,088	△80,375	334,712

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,331千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する情報

セグメント名称の変更

「旅館、その他外食事業」は前連結会計年度まで「旅館事業」と表示しておりましたが、平成23年4月にフランチャイズ店となります「丸源ラーメン紫竹山店」をオープンしたことに伴い、事業内容をより正確に表示するために、当第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

なお、変更は名称のみでありますので、これによるセグメント情報の損益等に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。